

平成26年3月31日
水産庁

水産物の市況について（平成26年3月及び4月）

—東京都中央卸売市場における平成26年3月（平成26年2月21日～3月20日集計）の市況と、
平成26年4月の市況見通し（前月との比較）—

I 平成26年3月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量（水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計）は前月並みとなり、卸売価格（水産物全体の1キログラム当たり平均価格）はやや強含みで推移しました。

II 平成26年4月の主要品目の市況見通し

「まいわし（生鮮品）」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいで推移すると見込まれます。（主漁場は、犬吠埼沿岸）

「さけ・ます（塩蔵品・冷凍品）」

入荷量は冷凍原料、製品ともに前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいで推移すると見込まれます。

「さば（生鮮品）」

入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。（主漁場は常磐～鹿島灘～犬吠埼沿岸、駿河湾から伊豆諸島周辺、富山県沿岸、山陰沿岸、九州西方海域、九州南部海域）

「するめいか（生鮮品・冷凍品）」

産地が端境期に入るため、入荷量は前月と比べ減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。

「あじ（生鮮品）」

入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれるものの、需要があることから卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。

「まぐろ（冷凍品）」

春の需要期のため、入荷量は赤身類、脂身類ともに前月と比べやや増加すると見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「かつお（生鮮品）」

入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれるものの、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。

凡例（目安）

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み、横ばい	横ばい
3～10	やや増加（減少）	やや強（弱）含み
11～20	増加（減少）	強（弱）含み
21～50	かなり増加（減少）	かなり強（弱）含み
51～	大幅に増加（減少）	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格（概数）

（単位：千トン、円/kg）

	3 月		前 月		前 々 月	
	入荷量	価 格	入荷量	価 格	入荷量	価 格
26年	40	894	40	866	42	1,049
前年	41	820	48	774	47	944

注1：入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2：入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

（単位：円/kg、%）

	東京都中央卸売市場卸売価格（概数）			
	3 月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし（生鮮品）	316	50	79	83
さけ・ます（平均）	936	100	158	150
（ぎんざけ塩蔵品）	788	100	133	118
（あきさけ塩蔵品）	578	100	119	121
（ときさけ塩蔵品）	945	100	156	128
（べにざけ塩蔵品）	1,050	100	129	118
（さけ類冷凍品）	957	101	173	164
さば（生鮮品）	379	88	83	88
するめいか（平均）	533	105	115	120
（生鮮品）	572	112	110	103
（冷凍品）	505	100	124	144
あじ（生鮮品）	676	100	108	116
まぐろ（冷凍品）	1,089	95	89	80
（めばち冷凍品）	841	98	103	87
（きはだ冷凍品）	727	95	92	84
（くろまぐろ冷凍品）	3,150	100	91	92
（みなみまぐろ冷凍品）	1,638	100	79	78
かつお（生鮮品）	904	109	119	94

注1：品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2：3月の価格は1～20日までの速報値。平年とは平成21年～25年の加重平均値。

注3：さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4：さけ・ます（平均）は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5：まぐろ（冷凍品）は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先：水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 岡野、庄田

直通 03-3591-5612